



地域おこし協力隊員活動報告

～初年度の振り返り～

鹿児島市観光農業公園地域おこし協力隊員
橋口 亮



令和元年12月

グリーンファームでの活動



【やってきたこと】

企画、運営、広報を行ってきた。イベントでは昨年からの変化といった点をポイントに新企画を考案した。また、園内圃場等での実地体験を交えながら、農業技師から野菜の作り方や市内、県内の農業事情を学んだ。

【反省・今後やりたいこと】

初年度ということで、業務を覚えることを優先したが、もう少し積極的な新規提案、効果的な広報ができたのではないかな。

今後は農作物に関しての知識をさらに深め、“グリーンファームならでは”といった部分にこだわった提案を行い、広報にもより力を入れていきたい。SNSでの動画配信など、楽しさが伝わるような手法を取り入れようと思う。

イベントに関しても、今後園内への複合遊具の設置などにより設備が充実するので、そのポテンシャルを発揮し、長時間滞在できるような仕組みを考えていきたい。

喜入地域での活動



【やってきたこと】

市消防団一倉分団、喜入猟友会、サークル団体（子育て・カヌー）に所属し、地域の方々と共に活動する機会をつくった。自身が地域のことを深く知ること、また住民に「地域おこし協力隊」の制度・活動を知ってもらうことに繋げることができた。

シティプロモーション講座では喜入以外の人達とチームを組み、喜入に興味をもってもらうことを目的にプロモーション動画を作成した。

【反省・今後やりたいこと】

この一年で地域の方々と広く面識を持つことができた効果は大きい。

今後は地域の方とより密に接するようにしたい。喜入一倉地区に地元住民の善意で活動拠点となりうる場所（一軒家）を借りることができたので、地域の人とコミュニケーションを図れる場所にしていきたい。

面識ある喜入以外の人も呼び込み、イベント等を通して活動を発信していくことで良い循環を構築していけると考えている。

地域おこし協力隊員等との交流・連携



【やってきたこと】

全国各地、さまざまな研修やセミナーを受講し、「地域おこし」に関わる考え方の他にワークショップを通じて実践的な手法を学んだ。また、各地の地域おこし協力隊員や地域活動を生業としている方と話し、情報共有することができた。

【反省・今後やりたいこと】

研修を通して学ぶことは多かったが、実践できていないことも多い。考えを可視化するという作業などは整理するための手法として非常に有用であるので、常に意識していきたい。

今年は初年度ということで、研修やセミナーなど都合がつくものに関しては極力参加するようにしたが、今後はより自身のスキルに直結する実践的な研修を選択していきたい。また、今年度つくったコネクションで、興味ある分野で活動している協力隊員やOBOGの現場での活動を視察して参考にしたい。

県内の協力隊員のネットワークはすでに構築されているので、「連携」といった部分でそれぞれのスキルを持ち寄り、面白いことができないか検討していきたい（グリーンファーム活用も視野）。

2年目は…

生業づくりを意識して動く！

2年後の任期満了後を意識し、生業となる稼ぐ方法を模索していく。考えていることを徹底的に具体化し、試験的に地域イベントの企画、実施まですべてを行う等、一連の流れを通して自身のやれることを見定める。

他の地域おこし協力隊員の動向も注視し、この一年で作った人脈、グリーンファームもおおいに活用していく。

